

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 85年決戦

### 東峰裁判不当論告求刑粉碎 二期決戦勝利にむけて

## 反対同盟空旗開き

1月10日、三里塚芝山連合空港反対同盟は、85年二期決戦の闘いにうってでる団結旗開きを開催し、反対同盟を中心に、全国の三里塚闘争支援勢力の代表がかけつけ、断固たる意志統一をもって、圧倒的成功をかちとりました。



芝山記念館は全国からかけつけた闘う仲間ではちきれんばかり。(1月10日)

り提起され（別掲）たあと、敷地内を代表して市東東市さんと島村良助さん、又、辺田地区を代表して鈴木幸一さん・萩原勇一さん、そして婦人行動隊を代表して郡司とめさんから各々鮮明な決意が表明されました。



あいさつに立つ中野委員長。

連帯のあいさつのトップを切つて動労千葉中野委員長がたち、「三里塚闘争も労働運動もまさに決戦の85年を迎えた。圧倒的な労働者隊列を三里塚に登場させ、とりわけ10・10には千名をこえる国鉄労働者が三里塚に結集した。国鉄は、『去るも地獄残るも地獄』といった十万人首切り攻撃と直面しているが、われわれは組織の存亡をかけた実力闘争でこれに対決し、3・24には昨年を上まわる大闘争で進撃する。さらに、東峰十字路裁判闘争の三氏を守り通す全国的な支援運

同盟がこの三里塚の大地にしっかりと根を下して存在している限り絶対に勝利できる。脱落派のように「同じ土俵にあらる」などというのは全くナンセンスだ。この二〇年間は闘いの連続、勝利への前進だった。それは東峰十字路裁判の重罪デッチ上げ求刑攻撃の反動体制のなかにわれわれの正義の闘いの証しを見てとることができている。全国的な支援運動をまき起こし、現地での攻防を断固実力でかちぬき、3・24空前の大結集にむけて、決戦の85年をかちぬこう。

動の中心柱としても動労千葉から全国に呼びかけ闘いを拡大したい。85年、共にくいのない断固たる決戦を闘いぬこう」と気迫にみちた連帯のあいさつを行いました。

このあと、全関西実行委を代表して、加辺さん、北富士から天野事務局長、東京実行委から長谷川さんと石田さん、群馬県実行委の青柳さん、反対同盟顧問弁護団を代表して一瀬弁護士が各々「反対同盟を断固支え決戦を共に闘う。3・24に空前の大結集を実現し、逮捕・流血もおそれず実力闘争で闘いぬく」との断固たる決意を表明し、会場は拍手と歓声の熱気に包まれました。

宮本嘉（副行動隊長）さんの乾杯の音頭で和気合々の新年交流会に移り、その間も全国からかけつけた住民・労組・学生等々数えきれないほどの支援共闘団体からあいさつがひきもきらず表明され、最後に、十年・五年・一年六月のデッチ上げ反動重罪求刑攻撃をはねかえし不屈・非転向で闘いぬいでいる東峰十字路裁判闘争の三氏を代表して秋葉義光さん・島村昭治さんが断固たる決意を表明し、85年決戦突入にふさわしい旗開きとして熱気あふれる大成功のうちに終了しました。

### 臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

旗開きは、10時より岩山記念館で開催され、萩原進（事務局次長）さんの司会により、二期決戦に突入する力強い宣言で開始されました。冒頭、主催者あいさつにたつた敷地内の小川嘉吉（法対部長）さんは「土地収用法攻撃と対決し勝利してきた。二期決戦の85年を迎え、われわれは『土地がなければ空港はできない。土地は絶対に売らない』を原則に断固闘つていく」ことを宣言しました。

基調報告が事務局長の北原鉦治さんよ

### 3・24大結集で二期決戦勝利へ

反対同盟 北原事務局長

基調報告(要旨)

全国の闘う人民の皆、岩山記念館で三里塚二〇年目の旗開きを勝ちとることの意義は大きい。昨年は成田用水はじめあらゆる攻撃と実力対決し、ことごとく勝利し敵を追いつめてきた。われわれ反対

### 二期 砕粉刑求論告

不当論告求刑を粉碎して最後まで闘う決意を表明する 島村氏(左)と秋葉氏(右)。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！